

## 分析機器部門講習会シリーズ

## 光学顕微鏡用凍結切片作製法(川本法)セミナー および実習のお知らせ

凍結切支持用粘着フィルムを使用して凍結切片を作成する川本法と新パラフィン切片作製法のセミナーと実習を以下のとおり行います。

日 時：セミナー 平成 24 年 8 月 6 日（月） 15：00～16：30  
実 習 平成 24 年 8 月 7 日（火） 9：00～18：00（各回 1 時間 30 分）  
実習開始時間 9:00 10:45 13:00 14:45 16:30

講 演：川本法による多目的凍結切片の作製と応用

講 師：川本 忠文 講師（鶴見大学歯学部 RI 研究センター）

場 所：セミナー 医学部第 2 会議室（医学部基礎棟 1 階 生協印刷部奥）

実 習 分析機器部門 超微形態研究室 2（医系研究棟 2 号館 1 階）

受 講 料：無料

申込期間：平成 24 年 7 月 31 日（火）まで

申込方法：電子メールで、「川本法」「セミナーor 実習」「実習の希望時間」「所属講座名」「氏名」「内線番号」を明記の上 [ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp) 宛にお申  
込ください。

同時に実習参加申込書に必要事項を明記の上、ライカマイクロシステムズ（株）の城田  
まで申込みをしてください。

### お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当：水口 幾久代（内線：2404, Email：ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp）

\* Web でも講習会情報を掲載しています

(<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)

# ワークショップ特別講演&実習

名古屋大学大学院医学研究科  
分析機器部門  
協賛:ライカ・マイクロシステムズ(株)

川本法と呼ばれている方法は、演者が硬組織へのカルシウム輸送機構を明らかにするために開発実用化した切片作製法のことです。その方法を用いることにより未固定非脱灰試料から厚さ2 $\mu$ の凍結切片を作製でき、しかも大きな試料からでも形態が保たれた薄い高品質の凍結切片を容易に作製できる。凍結切片は強力な粘着フィルムを用いて採取されるために薄切時の損傷、組織の変形が殆ど起こらない。作製された切片は、粘着フィルム上で染色され、専用封入剤により永久切片標本として保存できる。試料採取から永久切片標本作製の全工程は僅か20分で完了する。

川本法切片は、組織学的研究、組織化学的研究、酵素組織化学的研究、免疫組織化学的研究、遺伝子組織化学的研究、トレーサー実験(オートラジオグラフィ)、水溶性物質の体内分布、組織のマスマイキング、LMDによる遺伝子解析用試料採取用等、多くの研究目的に利用する事ができる。さらに研究目的以外に病院での術中迅速組織診断用等にも利用できる。本法は、実験動物に加え、植物、昆虫、魚貝類、食物等、従来の方法では凍結切片作製が困難であった試料にも利用することができる。このような多くの利点から、これまで極めて困難、あるいは不可能であった研究が可能になり、多く研究者によって利用されている。本講演では、28年の年月を経て完成した「川本法」について行います。

**講演:【川本法による多目的凍結切片の作製と応用】**

**講師:川本忠文先生 (鶴見大学歯学部 RI 研究センター)**

**日時:平成24年8月6日(月)15:00 ~ 16:30**

**場所:名古屋大学医学部 第2会議室(基礎等1F 生協販売奥)**

**実習:8月7日(火)9:00~18:00 超微形態研究室3**

## 川本法(粘着フィルム法)

川本法とは、専用の切片支持用粘着フィルムを用いて切片を作製し、切片を粘着フィルムとスライドの間に保存する切片標本作製法のことです。

### 未固定非脱灰凍結切片作製

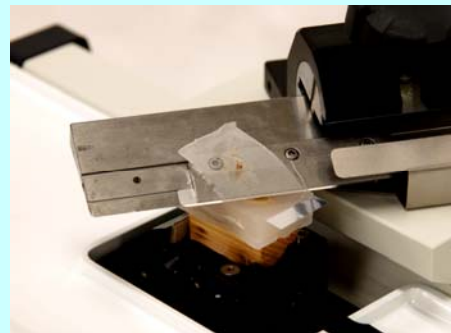
凍結切片作製用粘着フィルム使用



(試料採取後、20分で永久切片標本)

### パラフィン切片作製

パラフィン切片作製用粘着フィルム使用



「問い合わせ先: [ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp)」

# 探 究 人

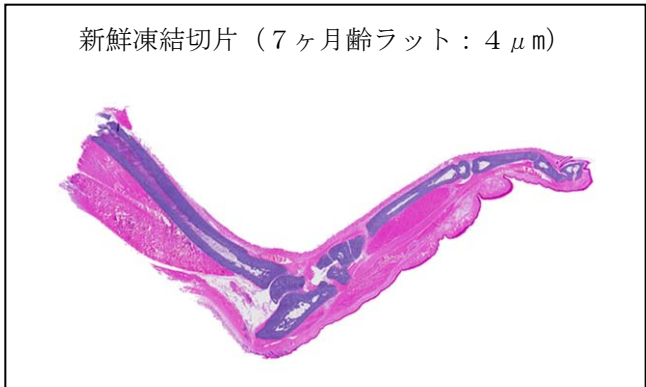
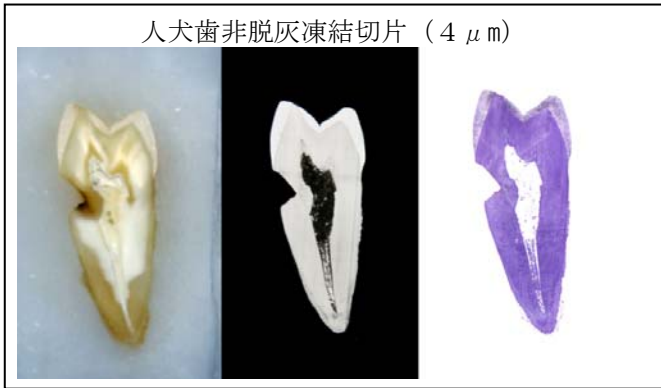
鶴見大講師 川本忠文さん(54)



「初心者でも、この道40年のベテランのように簡単にできます」  
 生物を瞬間凍結、断面に粘着フィルムを張り付け、千分の数ミという薄い観察切片をつくる技術の普及につとめている。18年かけて開発した「川本法」だ。  
 骨や歯のような硬い組織でも、形や成分を保ったまま切片にして顕微鏡で観察できる。ネズミの全身の切片を作り、組み込んだ遺伝子などの臓器で働いているのか調べたり、カルシウムなどの物質の生体内での移動を追ったりする研究にも

## 世界が認めた切片製法

使える。それまで不可能だったさまざまな研究が可能になり、応用範囲も広い。  
 中学を卒業して上京。働きながら夜間高校や大学で学び、こつこつと研究を続けてきた。  
 研究を支えてくれた恩師が川本法の完成直前に死亡し、途方にくれていたなら、99年、科学雑誌に研究を発表する機会を与えられた。精密な生物の切片の写真に問い合わせが相次いだ。  
 海外の学会からも講演を頼まれた。緊張して発表すると、盛大な拍手を受けた。「学歴や出身に関係なく、良い仕事は良いと評価してくれた」と感動した。  
 「再生医療など新たな分野でも使い道がいろいろあると思う」。川本法はいま、600を超える研究室で利用されている。  
 (瀬川茂子)



# 実習参加申込書

当日は、見学、サンプル薄切、研究相談等で混雑が予想されます。サンプル薄切を希望される方は、下記必要事項を記入の上、弊社へFAXあるいはメールで連絡して下さい。

(申し込み用紙は、下記メールアドレス(城田)から取り寄せることができます。)

氏名 : \_\_\_\_\_、所属 : \_\_\_\_\_

内線番号 : \_\_\_\_\_、Eメール : \_\_\_\_\_

研究室番号 : \_\_\_\_\_

来場予定時間 : 午前の部 9:00~10:30    10:45~12:15

午後の部 1:00~2:30    2:45~4:15    4:30~6:00

希望はお聞きしますが時間帯集中した場合ずれる場合がございますのでご了承ください。

## 1) 切片作製 (□にチェックを入れて下さい)

希望切片 : 凍結切片    パラフィン切片

試料種類 : 人試料    動物試料 (マウス    ラット ) ( その他 )

試料の部位 : 脳    心臓    肝臓    肺    脾臓    脂肪    関節等  
( その他 )

コンパウンド : SCEM、SCEM-L1    OCT    その他 ( )

固定、未固定 : 固定    未固定    その他の処理 ( )

試料の状態 : 凍結    未凍結

## 注 意 点

### 1. 試料前処理について

- ① できましたら新鮮な未固定試料を低温下で持参下さい。
- ② 長期間固定した試料は避けてください。
- ③ 川本法専用包埋剤(SCEM、SCEM-L1)以外での凍結包埋は避けてください。

### 2. 試料の大きさ

試料 縦:35mm 以内    横:15mm 以内    厚さ:10mm 以内  
(出来るだけ上記サイズでお願い致します。)

### 3. 持参試料数は、原則的に一人一個でお願いします。

### 4. 持参試料が多い場合、サンプル数を制限させていただく場合があります。また貴重な試料については、十分な対応ができない場合がありますので持ち込みは避けてください。

## 2) 相談コーナー (切片作製・応用等の相談、セミナーへの希望等をお書き下さい)

内容: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

連絡先 : ライカマイクロシステムズ(株)

担当 : 城 田 (TEL:052-222-3939 FAX:052-222-3784)

[takahiro.shirota@leica-microsystems.co.jp](mailto:takahiro.shirota@leica-microsystems.co.jp)